

3 学期始業式

令和 7 年 1 月 8 日

3 学期の終業式を迎えました。

2025 年が皆さんにとって、成長し、目標をいくつも達成し、新たな世界へ飛び込んでいく飛躍の年になることを祈念します。

今回も感染症対策の観点から教室へのリモート配信の形で行いました。

部活動の表彰は直接行い、その様子も教室へ配信させてもらいました。

インフルエンザの流行が続いていますので、健康管理をきちんとしながら、学習に部活動に、そして進路実現に向けて、着実に取り組んでいってください。



3 学期始業式 式辞

新しい年を迎えました。今年も皆さんにとって良い年になることを心から祈ります。

まずは、この 3 学期をしっかりと送りましょう。3 年生 4 月からは社会人という人もたくさんいますし、進学する人も今や成人であり、社会人としての力が求められます。1, 2 年生も「社会人としてやっていける力」をつけていく必要があります。そこで、今日は、それに関する話をします。

その前に、前提として、人間の成長には、頭と体と心、この 3 つがバランスよく育つことが必要だと思います。「知徳体」という言い方もしますが、知は知識の知、頭、徳は人徳、道德の徳、心のこと、そして体はもちろん身体です。知は、知識技能の知。しっかりと勉強して身に付けていくもの。体は、しっかり食べてよく運動して、丈夫な体を作る。そして、徳、正しい心、正しい考え方を養っていく。これがまずは大事だと思います。それに加えて、社会人として必要なことについて話します。

少し前の話になりますが、経済産業省が、これからの先の見通せない時代を見据えて必要だとする「社会人基礎力」というものを発表しました。「社会人として必要な基本となる力」といったところでしょうか。

柱は 3 つあります。

「考え抜く力」 「前に踏み出す力」 「チームで働く力」

「考え抜く力」は、課題に対してとことん考えて知恵を絞る力。問題を前にしてその考えて、課題を解決したり、新たなものを生み出したりする力

「前に踏み出す力」は、困難に負けずに前に進むとする力、1 歩 1 歩あきらめずに前にという力

「チームで働く力」は、誰とでも力を合わせられる力。目標に向けて協力する力で、自分の意見をわかりやすく伝える力だけでなく、相手の意見を丁寧に聴く力、そして協力していいものを作っていく力だと思います。

「考え抜く力」、「前に踏み出す力」、「チームで働く力」私も、まさにそのとおりだと思いました。

特に、私は、「考え抜く」というのと「前に踏み出す」ということは、若い世代にとっては直結していて、ぜひ身に付けてもらいたい力だと思います。

皆さん、考えに考える、必死に考えるということをやっていますか？

例えば、授業の中で、あまり考えることなく、ノートを写すだけ。わからなければあきらめるということになっていませんか。自分の課題、目標に対して、どうすれば実現するのか考え抜いていますか。

意識して、きつくても、逆風の中でも、難しい道でも、前へ一歩ずつ、歯を食いしばりながら進んでいますか？

社会に出たら、仕事についての授業はありません。教科書もない場合があります。手取り足取りは教えてくれません。

これらの力はどういうことをすれば身につくと思いますか？ 特別な場所や経験が必要でしょうか？ いいえ、そんなことはありません。

材料は日常のフィールドにあるのです。皆さんのフィールドは学校です。全てが学校の中にある。

教科学習の中にも、また、部活動等の中にも、考え抜き前に進むべきテーマが数多くあります。また、進路実現に向けた取り組み、努力、それがまさに、考え抜いて前に踏み出す、そして、それを継続すること抜きにしては実現しないものです。

学校は、そういった、挑戦できる分野、追求できる分野がいくつも用意されています。経験し、成長していくための機会に満ちています。

学校はそういう場所なんです。だから、学校生活を大事にしましょう。

3年間しかない、思い切って挑戦するだけの、時間と機会がある高校時代を。全国中、どの高校生もそうやってがんばっている。

3年生は、残り少ない高校生活で、そういったものをしっかり意識してつける。そして、卒業してから次の舞台で、今言ったような、考え抜く、前に進む、人につながる努力していくことが大事です。

受験を控えている人は受験に向けて、体調を管理しながら、全力で挑戦してください。

先生方は最後の最後まで皆さんを応援しています。そして、進路が決まっている3年生も、決まっていない人を最後まで応援して、卒業まで努力し続けてください。今よりも、さらに、成長した、一人前の大人になった君たちと、卒業式で会えることを楽しみにしています。

1, 2年生、今年は、君たちが学校の中心です。2年生は進路への挑戦が始まります。1年生は名実ともに中核学年になります。今言ったようなことも心のどこかで意識して、まずはこの3学期、そして、この1年、昨年より大きな成長を遂げていくことを、私たち教職員は、そして、保護者の方も楽しみにしています。

最後に、1つ言葉を送ります。パナソニックホールディングスを一代で築き上げた松下幸之助さんの言葉です。

「考えて考えぬいたら、だいたい考えたとおりになる。そのとおりにならないのは考えが足りないからである。」 (松下幸之助)

今から受験に臨む人を含め 3年生も、2年生も、1年生も、「考える」ということを大事にして、「考え抜いて」数多くの目標を実現してください。

皆さんの「努力」と「活躍」、「目標実現」を期待して、始業の言葉とします。